



平成19年度

株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況

株式会社五霞まちづくり交流センターにおける平成19年4月1日から20年3月31日までの経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」は平成17年4月23日にオープンし、来場者数は順調に増加しており、平成19年度における施設延べ利用者数は、前年度を大きく上回る約77万7千人に達し、農産物直売所を含む総売上高は約8億1,200万円、交流センターとしての経常利益は約1,300万円となりました。

地域食材供給施設

● レストラン「華ごぶし」

さまざまな地域食材を利用した食事を提供し、昼食時には家族連れや観光団体など多くの来場客がありました。



● 軽食コーナー（加工施設）

軽食コーナーはレストランと同様に幅広い客層に利用され、特に種類の豊富なアイスクリームや人気の「ローズポークまん」は大変ご好評をいただきました。

● 農産物直売所

「わだいな菜」

茨城むつみ農業協同組合に経営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地場産農産物等を求めて多くのみなさんに利用されており、道の駅「ごか」の活気をより引き立てています。

情報施設・交流広場

情報施設では道路情報の他、行政、文化等の地域情報を検索できるシステムが備わっており、さまざまな道路利用者に利用されました。

また交流広場では、定期的に商工会による「ごぶし市（フリーマーケット）」が開催された他、施設に隣接する畑を利用してコスモス祭りなどのイベントを開催し、人や自然とのふれあいの場で大勢の来場客でにぎわいました。



売上割戻金
約780万円を
町に納付

売上割戻金とは、(株)五霞まちづくり交流センターから施設の利用による受益の割戻金であり、売上高に应じ、平成19年度分として7,849,314円が町に納付されました。

なお、割戻金については、道の駅「ごか」における今後の修繕費用等へ充てる予定です。